

科目名	地域経済産業論 Regional Innovation		選択	2単位
学期・曜日・時限	秋・木・5限		-	-
担当教員名	吉田雅彦	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は学外から講義を実施しますが2回程度は講義室から行う場合があります。）※対面履修生は全回講義室から参加			
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>「地方創生」が日本経済の大きな課題の一つになっている。地域経済産業政策の歴史を振り返り、2000年以降、現在も続くシリコンバレー型、産業クラスター型の地域経済産業支援を学ぶ。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>地域経済産業支援の理論と実際を学び、受講生が自らの考えをレポートにまとめ、プレゼンする。</p> <p>&lt;アクティブ・ラーニング要素&gt;</p> <p>講義は「質問をお願いします」から始め、受講生の関心に沿って解説、ディスカッションしていく。</p> <p>&lt;ゲストスピーカー招聘&gt;</p> <p>受講生の関心によって検討する。講師は、経済産業省で地域経済産業政策・産業クラスター政策責任者、岩手県工業課長、日立建機(株)経営企画室部長などを歴任している。</p>				
<p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>講義計画は以下の通り。ただし講義の進行状況によっては、講義計画を若干変更する場合がある。</p> <p><b>1回目：イントロダクション</b>（1,2回目のどちらかで講師の来学・対面を予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：自己紹介、講義の概要、『地域マネジメント』第1章 地域マネジメントとは</li> </ul> <p><b>2回目：地域経済産業政策の発展過程</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『地域マネジメント』第2章 地域マネジメントの実際 地域マネジメントの歴史的事例</li> </ul> <p><b>3回目：観光による地域経済産業政策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『地域マネジメント』第3章 観光地域マネジメントの実際</li> </ul> <p><b>4回目：地域経済産業政策の理論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『地域マネジメント』第5章 地域マネジメントの理論</li> </ul> <p><b>5回目：インキュベーションマネージャー（IM）・コーディネーター（CD）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『起業・企業支援の実践』第1章 IM・CDの企業経営・経営学での位置づけ</li> </ul> <p><b>6回目：地方産業政策の歴史</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『起業・企業支援の実践』第2章 地方産業政策の歴史 岩手県の例</li> </ul> <p><b>7回目：シリコンバレー型起業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『起業・企業支援の実践』第3章 ～p.103 IM・CDの歴史</li> </ul> <p><b>8回目：シリコンバレー型起業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『起業・企業支援の実践』第3章 p.103～ シリコンバレーの機能</li> </ul> <p><b>9回目：IM・CDのマインドセット</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：『起業・企業支援の実践』第4章 IM・CDのマインドセットはどうしたらよいのか？</li> </ul> <p><b>10回目：受講生からの発表・ディスカッション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：これまでの経験と授業を踏まえて、地域経済産業論に関する短い発表を行い、ディスカッションをする。（講師の来学時に実施するため、実施回は変更することがある。）</li> </ul>				

### 11 回目：地域経済産業政策の実際

・要点：『起業・企業支援の実際』第5章 ～p.237 I M・CD の手法

### 12 回目：地域経済産業政策の実際

・要点：『起業・企業支援の実際』第5,6章 p.237～ I M・CD の手法・事例

### 13 回目：受講生のレポートとフィードバック (1)

・要点：受講生は発表を踏まえてレポートを作成する。レポートに関してディスカッションを行い、講師からフィードバックする。

### 14 回目：受講生のレポートとフィードバック (2)

・要点：受講生は発表を踏まえてレポートを作成する。レポートに関してディスカッションを行い、講師からフィードバックする。

### 15 回目：講義の総括

・要点：14回の講義のまとめ、受講生のレポートのブラッシュアップ、全体を通しての質疑応答

#### <講義の進め方>

毎回の講義の教科書の範囲を指定するので、事前にそれを読み、わからないこと、質問したいことをメモして用意していただきたい。講義は「質問をお願いします」から始め、受講生の関心に沿って解説、ディスカッションしていく。

#### <事前事後学習内容>

理解できない言葉、概念、理解できない内容などについて下調べは不要。わからないこと、質問したいことをメモして用意して毎回の講義に臨んで頂きたい。

#### <予習・復習時間>

各回の予習・復習には毎回4時間程度の時間を当てていただき、10回目の短い発表、13, 14, 15回目のレポート（成績評価対象）を立案し、ブラッシュアップしていただきたい。

#### <教科書及び教材>

吉田雅彦（2022）『地域マネジメント - 地方創生の理論と実際 -』鉾脈社

佐藤 利雄, 吉田 雅彦(2025)『起業・企業支援の実際 - これからの担う人たちへのエール』鉾脈社

#### <参考書>

吉田雅彦（2019）『日本における中堅・中小企業のオープンイノベーションとその支援組織の考察』専修大学出版局

#### <成績評価方法>

欠席6回以上の受講生の成績評価は行わない。評価は、①クラス貢献度（授業時の発言内容等）、②課題レポート、③プレゼンテーション、④ゲスト講師への質問や感想、の4点について評価する。

#### <課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

授業内、Teamsなどでフィードバックする。

#### <履修条件> 特になし

#### <ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

#### <録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー> メール (yoshida-masahiko@jissen.ac.jp) での問い合わせをお受けする。

#### <その他> 特になし。